

SEC-930

ウルトラ4Eチェッカー

取扱説明書

このたびは、「ウルトラ4Eチェッカー/ SEC-930」をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
ご使用にあたっては本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

安全上のご注意

⚠ 警告

- ご使用前には必ず既知の電源で確認してください。
- 高電圧 (AC600V以上) には使用しないでください。感電の恐れがあります。
- 本器を改造したり、分解しないでください。重大な事故の原因になる恐れがあります。

⚠ 注意

- 使用を開始する前に、外觀構造等に異常がないかを点検してください。
- 被覆検電機能において接地されていない金属管・ケース等は誘導電圧で誤動作する場合があります。
- 雨中では危険ですので使用しないでください。
- 落下、振動、衝撃など強い力が加わらないように注意してください。故障の原因になります。

⚠ 使用上の注意

- 保管する場合は、直射日光の当たらない乾燥した所に保管してください。また電池は本体から抜いて保管してください。
- 本説明書に記載の用途以外には使用しないでください。
- 子供に触れさせないでください。
- 電池は付属していません。リチウム電池CR2032×1をお買い求めください。

⚠ 使用前の確認

- POW/MODEスイッチを2秒間長押しすると、LEDが発光、ブザーが「ピー」と発音します。この時、動作しない、発光・発音が弱い場合は電池を交換してください。
- 既知の電源で動作確認を行い、感度を確認・調整してから使用してください。

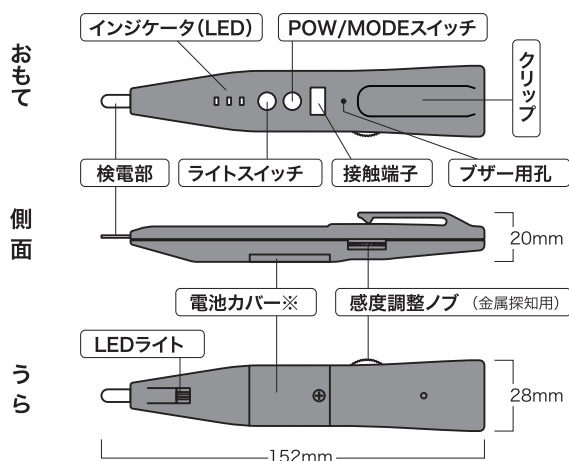
特長

- 交流電圧の活線状態を接触・非接触で確認できる検電器
- 直接検電 (区分検電) : コンセント等の充電部に直接接触させて検電ができる。100V、200Vの電圧判別が可能
- 被覆検電 : ケーブルの被覆上に検電部を当てるだけで検電ができる
- 金属探知 : 壁、天井、床等に近接する金属配管、スイッチ等のボックスの位置、金属補強材等の探知が可能
- 音と光でわかりやすい
- LEDライト付 : 約20秒間点灯後自動消灯
- 電池交換表示 : 電池電圧が低下するとインジケータが点滅
- 感度調整機能付 (検電用と金属探知用の2種類)
- オートパワーオフ : 無操作約4分で電源オフ
- 金属製検電部

仕様

- 使用電圧範囲 (直接検電・被覆検電)
直接検電 : AC100V 対地電圧 (80V~120V)
直接検電 : AC200V 対地電圧 (160V~600V)
被覆検電 : AC (80V~600V)
- 金属探知
探知距離 : 25mm~30mm
対象寸法 : φ20mm以上
- 動作表示 : ブザー鳴動、インジケータ (LED) 点灯
- 絶縁耐力 : AC2000V 1分間 検電部~クリップ間
- 使用電池 : リチウム電池 CR2032×1
(電池は付属していません。別途ご用意ください)
- 電池寿命 : 連続動作状態 約3時間
- 使用温度範囲 : 0°C ~ 40°C
- サイズ : 152×28×20mm
- 質量 : 30g (電池含まず)

各部の名称



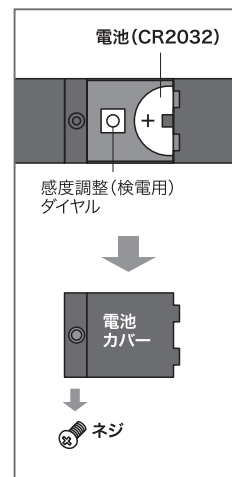
電池の交換

- ①電池カバーを外します。(右図)
- ②古い電池を外し、新しい電池と交換します。電池を装着する時は+/-の間違いないようにしてください。
- ③電池カバーを取付けます。

使用電池:
リチウム電池 CR2032



- オートパワーオフ機能により、無操作で約4分経過後、自動的に電源が切れます。
- インジケータが点滅した場合は、新しい電池と交換してください。



使用方法

注意: 人体抵抗には個人差があり、温湿度の状態により反応しにくい、もしくは反応しない場合があります。

1. POW/MODE スイッチ

- POW/MODEスイッチの2秒長押しで電源が入ります。(図1)
(初期モードは直接検電/インジケータ(LED)が点灯)
- 短押しする度にモードが切替わります。
- スイッチの2秒長押しで電源が切れます。

2. ライトスイッチ

- 直接検電、または、被覆検電のモードにします。(図1)
- ライトスイッチを押すとライトが点灯します。再度、スイッチを押すと消灯します。約20秒間点灯し、自動消灯します。

※注意: 金属探知モードでは、ライトは点灯しません。

3. 直接検電(区分検電)

直接導体に触れて検電する場合

- モードを「直接検電」にします。(図1)
- 接触端子に指で触れながら、検電部をコンセント等の充電部の端子に直接あてます。(図2)
- 非接地側(活線側)の導体に触れると、電圧により異なるブザーの鳴動とインジケータ(LED)点滅があり、100V/200Vの電圧判別ができます。
AC100V: ブザーの鳴動とインジケータ(LED)点滅が1回ずつ
AC200V: ブザーの鳴動とインジケータ(LED)点滅が2回ずつ
- 接地側の場合は反応しません。

4. 被覆検電

被覆の上から検電する場合

- モードを「被覆検電」にします。(図1)
- 接触端子に指で触れながら、検電部の根元の樹脂部をケーブルの被覆にあてます。(図3)
- 非接地側(活線側)の導体に触れると、ブザーの鳴動とインジケータ(LED)が点滅します。(100Vも200Vも動作は同じです。)
- 接地側の場合は反応しません。

5. 感度調整(検電用)

- 電源を切ります。
- 電池カバーを外します。(図4)
- マイナスの調整ドライバー(先端サイズ: 2.5×0.5mm以下)でダイヤルを回し、感度を調整します。(出荷時設定は「5」)
数値を上げる(最大「9」) → 感度が上がり、低い電圧で反応します。
数値を下げる(最小「0」) → 感度が下がり、高い電圧で反応します。

注意

- 感度は電線の種類・環境により異なります。
- 使用する条件に合わせて感度を調整してください。
- 感度調整する際は、必ず電源を切ってください。
- 調整ドライバーで、ダイヤルを強く押さえないでください。破損の原因になります。

6. 金属探知

- 感度調整ノブを小の方向いっぱいに戻します。(図5)
- モードを「金属探知」にします。(図1)
- 感度調整: 本器から30cm以内に金属物が無いことを確認し、感度調整ノブを大の方向にゆっくり回していくとブザーの鳴動とインジケータ(LED)が点灯します。この状態から感度調整ノブを小の方向にゆっくり戻していくと音も光も消えます。そこが感度の最大点となります。さらに小の方向に回していくと感度が低下します。
- 金属探知: 本器後部にある金属探知部が金属に近づくとブザーの鳴動とインジケータ(LED)がさらに明るく発光します。

